



題字は松井岳洋筆

平成30年新春を迎えて

会長 上村 岳章



会員の皆様明けましておめでとうございます。平成30年の初吟会に当たり一言ご挨拶申し上げます。

上げます。昨年は碩心会創立80周年大会を会員の皆様のご協力と成功させる熱意で完成することができました。

記念大会が過ぎると今までの経験では会員の減少が見受けられました。

昨年は「200名以上に戻そう」の目標を掲げてまいり、会員の皆様の努力により200名には少し足りなかつたけれどもほぼ達成することができましたことを感謝申し上げます。

これからも気を緩めることなく、「会員増強」、「吟技の向上」、「会員相互の融和」を目標に精進すると共に「詩吟を楽しむ心」を育み、健康第一に頑張つていこうではありませんか。

会員の増強は元より現会員の減少を防ぐには

No. 442
平成30年2月

発行

(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 上村 岳章

編集者 伊藤 岳光

神奈川県三浦郡葉山町堀内 1285

Tel/Fax.046-875-3397

URL <http://sekishin.holy.jp>

健康で長生きをしていただく事です。

昨年あるところでこんな話を仕入れてきました。それは元気で長生き秘訣「一、十、百、千、万」の話です。

ご存知の方もあるかと思われませんが「一」は一日の中で一回以上大口を開けて笑うことです。「十」は一日に外に出て十人以上の方とお話をしなさい。「百」は、ここが肝心で一日の中で百回以上腹式の呼吸をしなさいとあります。「千」はまさに詩吟の練習をするだけで達成され

ます。「千」は千字以上の文字を読みなさい。これは新聞を読めば達成は可能でしょう。中国の古文に「千字文」という書物がございませう。「天地玄黄宇宙洪荒」ではじまる千文字で中国の初級の書道書であり、千文字につながる話で懐かしく思いました。

「万」は言うまでもなく一日万歩ですが、これは一万歩は歩き過ぎであるともいわれています。とにかく一日中家の中で過ごさずに外へ出て楽しむことだと思えます。

「一、十、百、千、万」の話は詩吟とは関係ないところで拾った話ですが、我々詩吟を趣味にし

て楽しんでる者から見ても我が意を得たりと早速スマホで撮影していつも持ち歩いていきます。会員の皆様が元気で長生きすることで会員の減少を防ぐように切にお願いして私のあいさつといたします。

行事予定

第1回全国特別維持会員吟道大会

日時 3月11日(日) 開会10時

場所 日経ホール

春季審査会

日時 3月24日(土)

午前の部開会9時45分

午後の部開会13時30分

平成29年度俳諧歌講習会

日時 3月28日(水) 開会13時

3月29日(木) 開会12時(予定)

場所 葉山町福祉文化会館

神静地区吟詠大会

日時 4月22日(日) 開会10時

場所 小田原市民会館

碩心会 総会

日時 5月22日(火)

場所 未定

神静地区師範吟詠大会

日時 5月25日(金) 開会10時

場所 小田原市民会館

第27回神奈川岳風連合会青少年吟詠大会

日時 6月10日(日) 開会10時

場所 藤沢市民会館小ホール

平成30年初吟会

平成30年1月20日(土)
於 葉山町福祉文化会館



合吟・紫陽花支部



合吟・一色支部

昇伝段位認許

(平成30年1月1日付)

皆伝 (2名)

88 今井重岳

89 大塚翔岳

九段 (2名)

77 由谷悦岳

78 島 光岳

総伝 (2名)

56 森合岳景

57 山田岳遼

新年会参加人数 146名
当番支部 滝の坂・国際村



来賓の先生方



真名瀬支部・ボケない小唄
お座敷子唄 (替え歌)



国際村支部・支那の夜



真澄支部・祭り



悠々支部・群舞



相洋支部・白浪八人男

平成30年「碩心会初吟会」 収支決算書			
	科 目	決算額 (円)	摘 要
収入の部	前期繰越金	37,846	
	参加費	428,000	142名×3,000円+2,000円(2名式典のみ)
	お祝金	2,000	新総伝者2名
	来賓参加費	12,000	来賓者4名
	合 計	479,846	
支出の部	式典・新年会	37,200	ホール・大会議室使用料、設備使用料
	飲食代	353,681	懐石弁当、味噌汁、ビールその他
	傷害保険	5,600	東京海上日動火災保険
	事務・通信費	9,544	コピー、Fax、電話代金、文具
	会議費	8,544	打ち合わせ・その他
	運搬費	7,000	新年会用荷物運搬、その他
	交通費	12,220	弁当飲み物等発注、係打ち合わせ会、その他
	接待費	18,500	来賓ご招待、役員反省会
	予備費	5,000	新年会ランチマット
	小 計	457,289	
次期繰越	22,557		
合 計	479,846		

「吟詠と詩舞の集い」を顧みる

担当 葉山地区委員一同

碩心会80周年の昨年、数々の記念行事の掉尾を飾るに相応しい大会として11月26日(土)葉山福祉文化会館で盛大且つ和やかに開催できた。

当大会はかつての温習会から10年前に名称変更し会員のみならず知人・友人・家人を加えた広く楽しく集う会へと順調に変遷発展してきた。

◆主題の「花鳥風月」の選定

全教本掲載詩文の約7割を占めるこの四文字熟語は、詩吟詩舞の風流や雅(みやび)を表現するに最も適している。今回は「花鳥」と「風月」の2群に全詩文(漢詩・和歌・俳諧)を峻別し、各支部毎に割り振った。出吟順もこの2群に集約しプログラムを見やすく分かりやすくした。

◆詩文の選択と吟詠時間の平等化

全会員が皆独吟するにはあまりにも時間不足で悩ましい問題である。せめて吟題の自由選択でもと、支部単位の会員数比例の吟詠時間とそれに対応する2〜3倍の詩文群を公平に配分する作業をおこなった。幸い各支部責任者にこの主旨が理解され、会員の吟歴や吟力に応じた構成で期待どおりの吟詠大会となった。

◆アトラクションに「フラメンカダンス」

恒例の昼食後の出し物に、初めて西洋型の踊りを試みた。春の80周年大会の「阿波踊り」を真似たわけではないが、このスペインの踊りの

テンポの早い動きはその衣装と相まって、詩吟詩舞の優雅な動きと対極をなすもので、狙い通り全観客の喝采を浴びた。尚「フラメンカとはフラメンコを踊る女の子」の別称という。



平成29年「吟詠と詩舞の集い」 会計報告

科 目	決算額(円)	摘 要
吟詠と詩舞の集い	60,000	本会計より受け入れ
出 吟 料	173,000	1,000×173名
懇親会参加費	127,000	1,000×127名
合 計	360,000	
ホール使用料	10,075	(減免) ホール9,650+練習室425
大会議室使用料	12,040	使用料10,300+延長料1,740
設 備 使 用 料	21,725	(減免) 設備費15,725+暖房費6,000
プログラム作成費	27,415	300部(用紙、印刷代等含む)
傷 害 保 険 料	7,640	40円×191名
弁 当 代	134,846	706円×191名
懇親会飲食費	111,972	飲物、おつまみ・紙皿等
会 議 費	4,212	説明会、役員会議費
ポスター制作費	2,398	用紙、印刷代を含む
謝 礼 費	10,000	アトラクション謝礼
雑 費	9,012	事務用品・コピー代等
返 金	2,400	700円×2名、1,000円×1名
予 備 費	6,265	本会計へ返戻
合 計	360,000	

相州岳風連合大会に参加して

滝の坂支部 市川岳穂

平成29年11月24日、第9回相州岳風吟詠大会が開催されました。

コンクール重視のプログラムでスタート、「開会の辞」が終わるとすぐコンクールに入り、独吟六段以下16人、独吟奥伝以下18人、続いて連吟12題、合計46題の出場でした。四つの会が一つの輪にまわり相州岳風連合の名のもと、相互の親睦、交流を通じ競い合い切磋琢磨の過程で吟力の向上を図る目的でした。

我が碩心会からは10組が参加。個々に吟じ終わった時の客席は「いいね、行けるんじゃないの」との感想でしたが進行が進むにつれ他会の優秀吟者の波は次々と押し寄せて、技術の奥義を痛感しました。最優秀吟者でなくとも、碩心会所属の方々が優秀吟者として表彰される姿には会場からも喜びと感慨の拍手が沢山いただけたと確信いたしました。

我が滝の坂教場は13名が出席し、毎回2時間半の時間内で大会に出席する方々の練習が、上村先生のご指導の下に緊張感の中で実行されています。吟力は教場の中だけの練習の枠から飛び出して、独吟発表や他会主催コンクール参加の成功と挫折、緊張とゆとりの交錯を経験しながら次のステージへと進むと確信いたします。

逗子市詩吟舞連盟発表大会

真澄支部 浅野 健岳

創立55周年記念大会が11月11日、逗子文化プラザなぎさホールにて盛大に開催された。

会員吟詠、協賛合吟、立体吟、構成吟等あり、式典には逗子市長、文化協会会長も出席されました。一生懸命練習された吟は迫力があり、舞も日頃の稽古ぶりが何われ、華麗で会場内を一際和ませました。少年少女吟詠の新鮮さ、真剣な吟詠に感動し、心からの拍手が送られた。

書華道吟では、ささやかな思い出があります。数年前に書の文字が達筆の為、会場内から説明を求められ、今は亡き松井岳篁先生が説明され、私の提案で以後プログラムに原文を載せて頂くようになってきました。

大会は役員の方々の努力によりスムーズに進行し、順調に閉会を迎え、全員で「故郷」を合唱し散会しました。



平成29年新総伝者

滝の坂支部 小泉 岳貴



この度は、総伝に推挙して頂き誠に有難うございます。人生の四半期が過ぎ、頑心会に移籍し、良き師、先生方、会員の皆様に恵まれ無我夢中で今日に至っております。厳しい練習、稽古を重ねながら詩吟をやつていればこそ、楽しさや感動を皆様と共に味わいその輪を大切にしたいと思っております。総伝の名に恥じぬよう自己研鑽に努めてまいります。

悠吟支部 渡邊 岳香



先生から総伝を頂ける話がありビックリ！
有難い気持ちと共に25年間の色々なことが思い出されました。一柳先生から千葉先生に変わった時のこと、家が全焼した時、千葉先生や教室の皆さんに助けられ、詩吟を続けられたことなど：
体に気を付け少しでも長く皆様と吟を楽しみたいと思います。宜しく願ひ致します。
創立80周年という記念の年に総伝を頂き幸いです。見学のつもりが入会し、四半世紀が過ぎましたが、独吟は今だに苦手です。

悠吟支部 中村 岳紫



神奈川学風連合会、相州岳風連合、三島の全国大会などで、合吟や群舞に出場させていただいたのは有難い思い出です。

先生方、諸先輩、温かい雰囲気のある教室の吟友に改めて感謝申し上げます。

会員のうごき

- *入会 (6月1日付)
207 岩本 清司 (相洋) 逗子市池子 紹介者 加藤 岳洵
- *入会 (12月1日付)
209 明河 正一 (松和) 茅ヶ崎市東海岸南 紹介者 吉田 祐泉
- *入会 (1月1日付)
210 吉見 春流 (真名瀬) 葉山町一色 紹介者 吉見 恵里
211 大内 清美 (紫陽花) 葉山町堀内 紹介者 遠藤 千泉
- *入会 (2月1日付)
212 清水 純子 (真澄) 逗子市新宿 紹介者 荒井 洋子
- *退会者
59 浅野 健岳 (真澄) 69 有馬 昌岳 (相洋)
120 山中 侑山 (真澄) 149 金子 笑泉 (幸和)
175 鈴木 宏 (やよい) 逝去

編集後記

梅一輪 一輪ほどの 暖かさ
さまざまな花に先駆けて咲く梅は、古来から日本人に愛されてきました。厳しい寒さの中でも清らかな花を咲かせ、凛とした香りを漂わせ、季節が和らいでいくのが感じられ、心も温かくなります。

今年も広報部一同「碩心」、「ホームページ」、共に皆様喜んで頂きますよう頑張つて参ります。ご協力のほど宜しくお願い致します。 広報部

30年2月現在	会員数
逗子地区	109名
葉山地区	82名
合計	191名